

定例市長記者会見録

日 時：9月21日(火) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 朝日新聞、中日新聞、毎日新聞、読売新聞、中部経済新聞、共同通信

本日の案件は3つです。

1番目は「一宮駅周辺でまちなかウォークブル社会実験を10月22日より実施」です。ウォークブルの「ウォーク」の対極になるのが「車」になります。さまざまな都市計画が車の存在を前提としていますが、駅周辺のまちなかで一時的に車の通行を止め、ゆったりとくつろいで様々な活動が行えるか社会実験を行います。コロナ禍の情勢を踏まえ、緊急事態宣言が解除される予定の9月末から3週間を経た10月22日から実施します。シヨンヘル織機の展示やファッションショーの開催、羊のふれあい体験など、銀座通り車道を交通規制して実施します。また、スラックラインやSUPヨガ等のアクティビティ体験を本町通りで、葵公園での防災キャンプにつきましては、防災対策・コロナ対策として購入したテントを実際に使用してみるなど、いくつかの場所で実験を行います。なお、期間中の平日に実施予定の「おむすびスタンド」「キッチンカー」「弁当・惣菜販売」について、現時点ではテイクアウトを想定しています。コロナ禍により流動的な部分もありますが、この社会実験を通じ、規制の強化と緩和の使い分けを柔軟に行えるよう知見を得るべく、積み重ねていきたいと思っています。また、現地のリアルタイムの状況と混雑予想をウェブサイト上で同時に配信し、そこで混雑状況を確認してから集まってもらえるような仕組みをつくりたいと考えています。コロナの収束にはまだまだ時間がかかりそうですが、その間はコロナと上手に付き合い被害を最小限にとどめながら、こうしたイベントを実施していくための社会実験です。

2番目は「オンラインによる長寿祝訪問」です。私が数え100歳の高齢者を訪問しますが、今がコロナ禍であることを踏まえ、オンライン訪問とします。特別養護老人ホーム丹陽さんはオンライン環境が整っていて、ご家族とのオンライン面談も行っているため、9月28日、河村やゆ子さんにお祝いを申し上げる予定です。

3番目は「「2021 ステアアーレース 138 全国大会」を開催」です。市制施行100周年の記念事業として、市のシンボルタワーであるツインアーチ138の屋外階段を一気に駆け上がり、所要時間を競うレースを開催します。11月6日の午前10時から開始します。全国の消防署や消防団員から参加者を募りました。現在、北は北海道から南は大分まで、すでに多くの応募があり、全国大会にふさわしいレベルの高い競争が繰り広げられることを期待しています。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■一宮駅周辺でまちなかウォークアブル社会実験を10月22日より実施

(記者) この社会実験は名古屋市の矢場町や栄などでは行っているのと聞いておりますが、愛知県内や尾張地区でこのような社会実験の例はありますか？

(市長) 尾張地区では初になります。三河地区では岡崎市が行っています。

(担当) 類似の社会実験では、豊田市、豊橋市、名古屋市中区錦で行っています。

(記者) 交通規制を行うようですが、歩行者天国にするのですか？

(市長) はい、そうです。本町商店街は、元々昼間は車両が通行できません。しかし、銀座通りは普段車両が通行しています。イベントを開催して駅周辺がにぎわうことで、交通規制に対する住民合意が取れるかを注視していきたいと思えます。また、一過性のイベントにするのではなく、駅周辺のにぎわいの仕掛けづくりを行っていききたいと思えます。

■「2021ステアーレース138全国大会」を開催

(記者) 今まで近隣の市町とステアーレースを行われていたということですが、どこの市町と行われていたのですか？

(担当) 県内の近隣市町では、稲沢市、岩倉市、江南市、犬山市などが参加していました。他県では、各務原市、羽島郡、四日市市が参加していました。

(記者) 今までの大会への参加人数は何名ですか？

(担当) 今までは、100名程度です。

(記者) 全国大会となっていますが、これは各県や各ブロックから参加されるということですか？

(市長) 全国にある726消防本部へ全てに案内をしています。

(担当) 今回の大会は、全国の消防本部に参加案内を発出し、応募があった消防本部の参加ということなのです。

■アメリカ合衆国女子シッティングバレーボール代表チームとのオンライン優勝報告会について

(記者) 本日の午前中に、アメリカ合衆国女子シッティングバレーボール代表チームとのオンラインで優勝報告会をされましたが、ご感想をお聞かせください？

(市長) オンラインでの交流を通じて、彼女たちに一宮市民の温かい気持ちは届いていると思えます。コロナが終息後の話になり思えますが、現実に一宮市にお越しいただき、障害者スポーツを通じて国際交流の機会を持ちたいと強く決意をいたしました。

(記者) 一宮市へお越しくくださるよう、お伝えされたのですか？

(市長) はい、伝えました。

■9月議会の単行議案について

(記者) 中学生自死事案に関する和解についての議案ですが、委員会での質疑も終了し可決することと思います。ここで改めて、和解に至ったことについて、どのように思われているのかお聞かせください？

(市長) 改めて亡くなられた生徒さんのご冥福をお祈りするばかりです。同じことを二度と起こさないよう、教育現場に対しては、教育長を筆頭に、何度もしっかりと第三者委員会の提言を徹底するように動いていただいています。コロナ禍で先の見えないう閉塞的な時間が続いていますが、未来に希望が持てるような取り組みも考えていきます。